

熊野の里 株式会社 SDGs宣言



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、お客様・従業員・環境・地域に貢献する経営に努めます。

当社のSDGsへの取り組み

1. 地域資源を活かし、 食材に新しい価値と魅力を与える

「常に挑戦する・堅実に歩む・未来を見続ける経営」を経営理念に、地産地消、未利用資源の有効活用に挑戦し、食材に新しい価値と魅力を与えます。

■ 地域農業と連携し、持続可能な地域経済・農業の発展への貢献

- ・和歌山県産の南高梅の積極的な活用による地域支援
- ・地域の特産品を活かした付加価値商品の開発
- ・自社農園での梅栽培による原料の安定確保と地産地消の推進

■ 食品製造における未利用資源の活用を通じた、資源の有効活用への貢献

- ・梅の調味廃液をリサイクルして調味料として食品製造へ活用するビジネスモデルを確立
- ・しいたけやダイコン等の未利用部分や値段のつきにくいものを売れる商品へ

■ 安心安全な食品製造

- ・ISO22000（食品安全マネジメント）にもとづいた製造・品質管理体制の強化



2. 働きがいのある職場環境づくり

従業員のワークライフバランスと健康に配慮し、働きやすい職場の整備などを通じ、すべての従業員が安心かついきいきと働き続けられる環境をつくりまします。

- 作業環境の整備（空調・駐車場の完備等）による快適な職場づくり
- 定期的なマッサージ提供など福利厚生充実
- 有給休暇取得の促進（高い取得率の維持）
- 幅広い年齢層が活躍できる、従業員満足度の高い職場



3. 環境対応と地域発展への貢献

環境対応や地域への貢献を重視し、地域から信頼される経営に努めます。

- 省エネルギー化の推進、廃棄物の削減（未利用資源を利用するため廃棄物がそもそも少ない）、地下水の利用など環境への配慮を通じ、環境対応を積極的に推進します。
- 積極的な地域からの雇用、地産地消と地域食材を生かした商品を適正価格で販売し、地域に利益を還元する経営などを通じ、地域の発展に貢献します。

